

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	住宅ストック小委員会	主 査 名：村上 心 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：安藤正雄
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>下記のような「住宅ストック」のマネジメントに関して、わが国及び諸外国の制度や事例等の実態や課題等を把握し、わが国の社会システムや政策提言につながる研究を実施することを目的とする。</p> <p>①集合住宅（公的賃貸住宅、マンション、民間賃貸住宅等）の管理の適正化及び再生の円滑化</p> <p>②戸建住宅及び戸建住宅地の管理の適正化及び再生の円滑化</p> <p>③既存住宅の流通や住み替えの円滑化等</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：村上心(椋山女学園大学)</p> <p>幹事：齊藤広子(明海大学)・長谷川洋(国土交通省)・森田芳朗(東京工芸大学)</p> <p>委員：李祥準(早稲田大学)・柴田建(九州大学)・関栄二(明海大学)・高屋宏((株)市浦ハウジング&プランニング)・丁志映(千葉大学)・辻寿一(大阪樟蔭女子大学)・橋本真一((財)建設物価調査会総合研究所)・濱中冬行((株)アイビーエー環境工学研究所)・山本理((株)長谷工総合研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>①集合住宅WG：集合住宅のマネジメントに係る研究を行う。</p> <p>②戸建住宅地WG：戸建て住宅地のマネジメントに係る研究を行う。</p> <p>③住宅流通WG：既存住宅の流通の活性化に資する研究を行う。</p>	
2011 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委 員 会 HP ア ド レ ス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/shugou/

項 目	自己評価	
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)		
大会研究集会	研究懇談会「集合住宅の再生のため建築社会システム」 (資料名) 同上	参加者数 60 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	<ul style="list-style-type: none"> ・大会研究集会の開催、委員会の実施、及び、調査・活動については、おおむね当初目標を達成できた。 ・2011 年度中の出版を計画していたが、2012 年度に延期となった。 	
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員 (WG 含む) が東北から九州まで各地に分散しており、一堂に会することが難しい。 2. 来年度は WG 活動を含め、委員会運営をより活発に行いたい。 	